

2016自己評価シート 近江聖書学園 水口幼稚園
本年度教育目標(年主題) 自分らしく生きる

氏名 歳児 ぐみ

担当係

評価項目	目標及び実績 本年度重点的に取り組むことが必要だと 思われること	方策(具体的な取り組み方)	取り組みに努める自己評価(5段階)					総合評価 (5段階)	考察					
			第1保育期	第2保育期	第3保育期	第4保育期	第5保育期							
教育目標教育 課程(方針)	・子ども一人ひとりの発達に合わせた保育。 ・子どもの自発性を引き出す保育。 ・遊びに深まりのある保育。	・子ども一人ひとりをよく観察し、その子どもにとって必要なことを考える。 ・子どもがやりたいと思える環境を作る。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	4.2	子どもが主体であるよう意識して保育を行うことができた。子どもの自発性が引き出せるような保育を意識した。遊び(自発活動、課題活動)ともに)をさらに深めていきたい。
子どもとの関わり	・子ども一人ひとりが自分らしくいられるよう、子ども思いに寄り添う。 ・子どものありのままの姿を引き出す。受け入れる。 ・子どもの興味、発達過程、年齢等に合わせたカリキュラムを組み、活動を展開する。 ・子どもたちが遊びを喜び、深められるような環境を整える。 ・冒険の森の活用、工夫する。 ・適切な人員配置を行う。	・子どもが安心して自分を表現できるよう寄り添い、関わる。 ・子どもをよく観察し、発達段階を知る。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	3.9	一人ひとりの関わりを大切にすることができた。子どもの姿に合わせた柔軟な保育力が高い。子ども一人ひとりの関わりを大切にしたい。
教育環境整備	・子どもの興味、発達過程、年齢等に合わせたカリキュラムを組み、活動を展開する。 ・子どもたちが遊びを喜び、深められるような環境を整える。 ・冒険の森の活用、工夫する。 ・適切な人員配置を行う。	・その時の子どもの姿、興味、季節等に合わせた教材や遊びの提供をする。 ・園全体を見て、保育者同士の配置を確認し、足りないところを補う。 ・物を丁寧に扱うことを意識する。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	3.9	工夫して、クラス、年齢に合わせた保育環境を整えることができた。園全体の状況を把握し、保育者の連携を配り合うよう努力した。片付けがしやまい保育環境を作ったが、物の大切さは引き継ぎ意識して伝えていきたい。
保護者との連携	・片付け、清掃等の基本的な整備を丁寧にする。 ・保育方針をわかりやすく伝える。 ・保護者との信頼関係を築く。 ・保護者、保育者が連携して子育てに取り組む。 ・複数担任制を活かす。	・クラス(園)だより、懇談などで子どもの様子や保育者の関わりを伝える。 ・話しやすい雰囲気を作る。 ・保護者の思いに寄り添い、子育て支援をする。 ・保育者それぞれの個性を生かした保育を行う。 ・報告、連絡、相談を大切にしている。 ・園内研修を行う。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	4.4	保護者との関係づくりのため、日頃の会話を大切にしたい。このことは引き続き、大切にしたいことである。また、様々な機会に様々な方法で保育方針を伝えるよう努力した。保護者の思いや不安に寄り添えるよう努力したい。
組織運営(クラスとして、全体として、他の関係者との関わり)	・職員全体、学年、クラスでの会議を行い、保育に関する共通理解を深める。 ・園内研修を行う。	・保育者同士の会議、またノートを使っての連携を大切にしたい。それでもなかなか話し合う時間が足りず、さらに工夫が必要である。充実した園内研修が行えた。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	4.1	保育者同士の会議、またノートを使っての連携を大切にしたい。それでもなかなか話し合う時間が足りず、さらに工夫が必要である。充実した園内研修が行えた。
特別支援教育	・インクルージョン保育を実施し、周知する。 ・子どもたちの発達に合わせた支援を行う。 ・上記のことを保護者にも伝え、インクルージョンの理解を促す。	・一人ひとりの子どもの姿をクラス全体で認め、子どもたち同士支え合える環境を作る。 ・上記のことを保護者にも伝え、インクルージョンの理解を促す。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	3.6	インクルージョンの大切さを改めて感じたい。子どもたち同士が気づいたり支え合えるような声かけ、関わりをした。
研修	・様々な研修に参加する。 ・研修で得たことを日々の保育に活かす。 ・保護者の思いに寄り添い、対応に努める。	・積極的に研修に参加する。本や資料を読む。 ・学んだことを保育で実践する。 ・園内、未就園児、卒園児の保護者との関係作りを大切にしている。 ・つくし親子広場(未就園児親子広場)を充実させる。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	3.9	家庭的保育の基礎研修を含め、様々な研修に参加することができ、学ぶことができた。様々な話を聞くことで、保育の向上につながった。
子育て支援	・子育てに必要な情報を発信する。 ・保育者は自分らしく生き生きと過ごす。 ・保育者としての意識を持ち、責任を担って行動する。	・保育者の悩み、不安を感じ取り、寄り添えるような働きかけをした。思いがあってもなかなか出せない保護者にも寄り添えるようしていきたい。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	4.1	保護者の悩み、不安を感じ取り、寄り添えるような働きかけをした。思いがあってもなかなか出せない保護者にも寄り添えるようしていきたい。
自己研鑽	・保育者としての意識を持ち、責任を担って行動する。	・保育の仕事を楽しむ。 ・興味の幅を広げ、積極的に挑戦し、学びを経験する。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	3.9	"自分らしく"とはどういうことかと、改めて考えることができた。自分自身を誇り、楽しんで保育することができた。

※評価項目については別紙資料参照

来年度取り組むべき課題

インクルージョン保育(共生保育)の大切さを感じ、日々の保育の中で実践できるよう意識している。このことを子どもたち、保護者にも伝える。学校や地域、社会にも発信し続けていきたい。
保護者との信頼関係を築けるよう日々意識している。子どもたち、保護者を取り巻く環境は様々な点で受け止め、一人ひとりに寄り添える保育者でありたい。
保育者自身の"自分らしく"を大切に、複数担任制を活かせるようさらに努力を続けたい。
子どもの自発性を重んじる保育カリキュラムをさらに充実させたい。

学校関係者の評価

インクルージョン保育を大切に実践している水口幼稚園の保育に共感する。
施設設備に劣らないよう日々意識している。子どもたち、保護者を取り巻く環境は様々な点で受け止め、一人ひとりに寄り添える保育者でありたい。
水口幼稚園の保護者、園内はよく連携する。地域とのつながりを大切にしたい。
自己評価を活用しながら保育の見直しをし、保育者の成長につなげてほしい。